

# 森の恵み



## 秋のごちそう編

# なめこ

山形県を代表するきのこの一つ



## 原木なめことは？



- 広葉樹の丸太(原木)になめこ菌を打ち込んで育てたもの。(育てる場所は森の中がほとんど)
- 収穫時期 9月下旬～11月下旬
- 山形県の原木なめこ生産量は、全国1位! (平成30年次)



## ねりなめこ

### 材料 (4人分)

- なめこ ..... 200g
- めんつゆ ..... 大さじ1と1/2
- 大根 ..... 200g
- ねぎ ..... 少々

### 作り方

- (1) なめこのいづき(根)を切り落とし(原木なめこのとき)、水に浸ける。  
何度か水を取り替えて、ゴミを取り除く。
- (2) 鍋を火にかけて、なめこを入れる。  
焦げ付かないように注意して、常にかき混ぜておく。
- (3) めんつゆを入れて煮立たせる。ひと煮立ちしたら火を止める。
- (4) なめこを冷ましたら大根おろしと和え、ネギを加えて完成。



出典: 山形県山菜・きのこ振興会  
<http://sansai-kinoko.nmai.org/>



伊藤 健吾 さん

長野県伊那市出身。山形大学農学部卒業。  
現在は出羽庄内森林組合で、作業技術員として  
伐木作業などに従事している。  
また、狩猟免許を持ち、猟友会に所属。

# もりしあ人

— 森がある幸せを伝えたい —

森林組合で作業技術員として働いている伊藤健吾さん。これまで様々な場所で働いた経歴をお持ちですが、共通している点は「森で働く」「森で暮らす」ということです。今回はそんな森で働く「もりしあ人」にお話を聞きしました。

—現在の仕事について、教えてください。

簡単に言うと、「木こり」です。具体的には、現場でチェーンソーを使って木を切り倒しています。現場で働いている人は、他にもプロセッサ(切り倒された木の枝を切ったり寸法に合わせて丸太にしたりする高性能林業機械やフォワード(丸太を荷台に積んで運ぶ林業機械)の運転手(オペレーター)がいて、それぞれ役割分担をし、仕事をしています。仕事場は山の中だけではなく、依頼があれば様々なところに出向きます。この間は依頼を受けて羽黒山の危険木の緊急伐採で300年余りの木を切りました。

—まさに今日も現場での作業後に取材を受けていただきました。ありがとうございます。

### ◆山の恵みをいただく

—仕事で森に入る以外に、狩猟もされているそうですね。  
狩猟免許は山形大学の演習林で働き始めてから、すぐに取得しました。



羽黒山で危険木の緊急伐採としてスギの木を切っています

—最近クマの目撃が多く報告されています。  
ある場所ではクマがとても密集している、一方ではいると思わなかった。カモヤキジ、ノウサギやクマなどを捕まえていて、最近の目標はここ数年増えているイノシシやシカを捕ることです。他にも市町村などから要請があれば有害鳥獣駆除の応援で参加することもあります。

—山形の森で働くということ  
—これまでの経歴を教えてください。  
長野県出身で、山形大学農学部を卒業後、一旦は地元の長野県に戻り森林組合に就職しました。しかし、大学時代によく演習林に行き、そこで働く方と仲良くしていたことから、山形大学の演習林で働きたいという思いをずっと持っていました。ちょうど退職される方がいて、その方と入れ替わりで演習林の非常勤職員として働き始めました。そこで4年間務めた後に一緒に働いていた方からの勧めで、県職員採用試験を受け、県職



こんな高い所での作業もこなします!

—森で働くということが一貫していますね。森で働きたいと考えるようになったきっかけはありますか。  
高校の先生に炭焼きを体験させてもらって、「面白そうだから自分でもつとやってみよう」と相談したところ、炭焼きをやっている方を紹介してもらいました。そこで指導いただいた方に、炭焼き以外にいろいろ森のことを教わったのがきっかけです。山仕事や木を扱うことの面白さが心に残っている、自分もその道に向かってみるかと思うようになりました。

—今後やりたいことを教えてください。

新しく何か始めるといいうよりは、まずは目の前の仕事に集中したいです。林業も狩猟も自然を相手にした仕事なので、環境の変化に対応することが必要だと考えています。  
いつかやりたいことは、森で働くきっかけとなった「炭焼き」に挑戦してみたいです。自分の家で使うバーベキュー用の炭を作るなど、楽しみながらできたらいいですね。